

# 1 各教科・科目等の指導のあり方

— 単元（内容のまとめり）ごとの指導 —

## 学習指導要領等の枠組み

- ①「何ができるようになるか」（育成をめざす資質・能力）
- ②「何を学ぶか」（教科等を学ぶ意義と、教科等間、学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成）
- ③「どのように学ぶか」（各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実）
- ④「子ども一人一人の発達をどのように支援するか」（子どもの発達を踏まえた指導）
- ⑤「何が身に付いたか」（学習評価の充実）
- ⑥「実施するために何が必要か」（学習指導要領の理念を実現するために必要な方策）

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（中央教育審議会答申 平成28年12月21日）より

単元（内容のまとめり）の目標は、学校教育目標で設定しているめざす子ども像を踏まえたうえで、学習指導要領の内容を参考にして設定します。



### Ⅲ 学びの過程 （目標に向かう道筋）

#### 何を学ぶか、どのように学ぶか

- 【学習内容・場面・方法】
- ・単元目標に即した学習課題との出会い
  - ・基礎的な知識・技能の習得、活用
  - ・知識・技能をつなげる
  - ・知識・技能を使って、思考し、まとめる など

#### 各教科等の 見方・考え方

学びの過程において、どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくかということ

「子どもの発達を踏まえた指導」や「必要な方策」

### Ⅱ 子どもの現状 （目標に向けた実態）

- 【実態把握】
- ・既習事項等の到達度
  - ・学習に対する意欲や構え など

### Ⅰ 単元の目標

育成をめざす資質・能力

#### 何ができるようになるか

- 【教育目標】
- ・学校教育目標・学習指導要領
  - ・めざす子ども像 など

### Ⅳ 見取りの指標 （目標への到達度）

#### 何が身に付いたか

- 【観点別学習状況】
- ・評価規準、判断基準 など

## 各学校で考えてみましょう

- ▶ 各教科等において単元（内容のまとめり）ごとの指導計画を立てる際に、Ⅰ「単元（内容のまとめり）の具体的な目標」、Ⅱ「目標に向けた児童・生徒の実態」、Ⅲ「目標に向かう学びの過程」、Ⅳ「見取りの指標」を具体的に設定しましょう。